

① 以下の文章を読みながら「な・に・ぬ・ね・の」に○（まる）をつけてください。

あるひのくれがたのことである。ひとりのげにんが、らしょうもんのしたであまやみをまっていた。

ひろいもんのしたには、このおとこのほかにだれもない。ただ、ところどころにぬりのはげた、おおきなまるばしらに、きりぎりすがいっぴきとまっている。らしょうもんが、すざくおおじにあるいじょうは、このおとこのほかにも、あまやみをするいちめがさやもみえぼしが、もうにさんにんはありそうなものである。それが、このおとこのほかにはだれもない。

なぜかというと、このにさんねん、きょうとには、じしんとかつじかぜとかかじとかききんとかいうわざわいがつづいておこった。そこでらくちゅうのさびれかたはひととおりでない。きゅうきによると、ぶつぞうやぶつぐをうちくだいて、そのにがついたり、きんぎんのはくがついたりしたきを、みちばたにつみかさねて、たきぎのしろにうっていたということである。らくちゅうがそのしまつであるから、らしょうもんのしゅうりなどは、もとよりだれもすててかえりみるものがなかった。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

な	に	ぬ	ね	の
<input type="text"/>				

③ 何について書かれた文でしたか？口頭で教えてください。

..... 折り線

【物語】 仮名拾い (かなひろい) 課題プリント その5

答え ② な：8 に：16 ぬ：1 ね：2 の：21

③ 羅生門と、その周辺の状況などを描写している文。
(他、物語を説明してもらう) など

物語の出典：
羅生門 - 芥川 龍之介 著
を平仮名に加工して作成